

日本版ライドシェア、公共ライドシェアの 取組状況等

公共交通政策部門、物流・自動車局

日本版ライドシェア(自家用車活用事業)の取組状況

概要

令和6年3月制度創設

目的	タクシーの輸送力供給の補完 (タクシーが不足する時間帯において、不足車両数分を供給)	ドライバー	第1種運転免許の保有 (所定の研修を受講)
実施主体	タクシー事業者	使用車両	自家用車



運行実績 ※令和7年8月17日時点

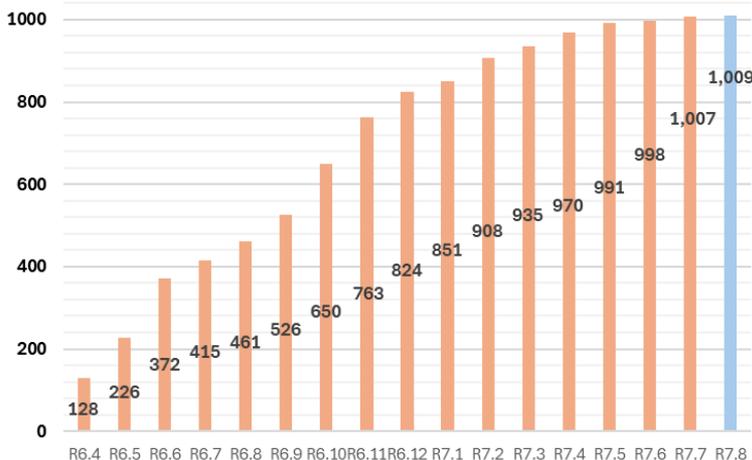
導入地域 (許可済) : **141地域**
 登録ドライバー数 : **9,518人**
 稼働台数 : **177,225台**
 運行回数 : **958,898回**

制度の改善

制度創設以降、**ニーズを踏まえた運用改善**を実施

- 需要の高まる雨天時・酷暑時における供給拡充
- イベント開催時や観光ハイシーズンにおける供給拡充
- 配車アプリを使わない電話や現金支払いによる利用への対応
- 災害発生時・復旧時における供給拡充
- 地域ニーズを踏まえた運行時間帯の設定

許可事業者数 ※令和7年8月17日時点



マッチング率の改善状況

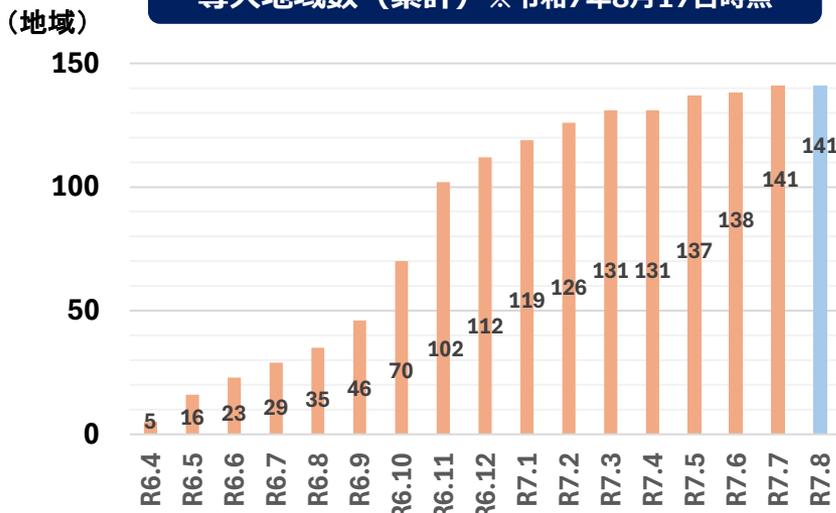
日本版ライドシェア導入前の2023年と導入後の2024年4月以降のマッチング率※を月ごとに比較すると、**約8割～9割の時間帯でマッチング率が改善**している。
 ※利用者からの申込に対して車両手配できた割合 (車両手配数/申込数)

比較年月	マッチング率の改善状況
2024年4月	88% の時間帯
5月	89% "
6月	89% "
7月	77% "
8月	85% "
9月	85% "
10月	83% "
11月	83% "

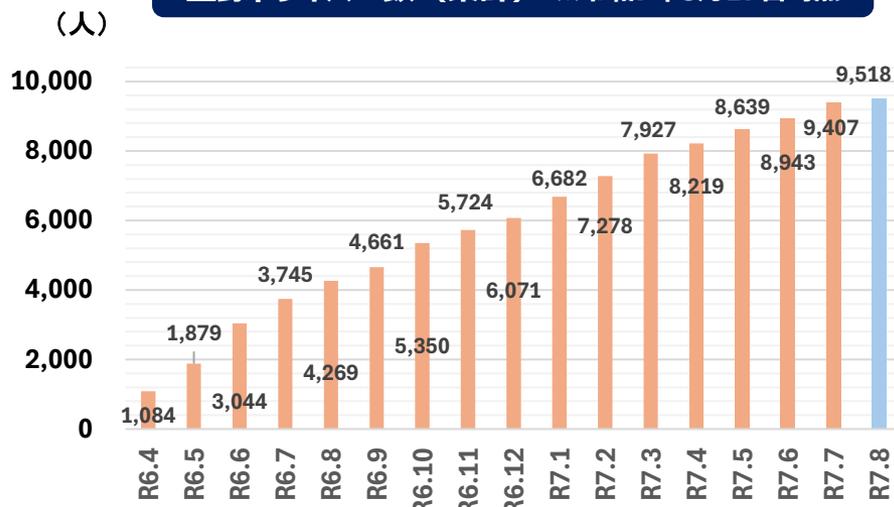
比較年月	マッチング率の改善状況
2024年12月	83% の時間帯
2025年1月	2023年度比： 88% の時間帯 (2024年度比： 85%)
2月	2023年度比： 91% " (2024年度比： 88%)
3月	2023年度比： 92% " (2024年度比： 88%)
4月	2023年度比： 92% " (2024年度比： 85%)
5月	2023年度比： 93% " (2024年度比： 73%)
6月	2023年度比： 96% " (2024年度比： 83%)
7月	2023年度比： 96% " (2024年度比： 87%)

○令和6年3月の日本版ライドシェア制度の創設以降、141地域において累計90万回以上運行されており、タクシーの補完として有効に機能している。

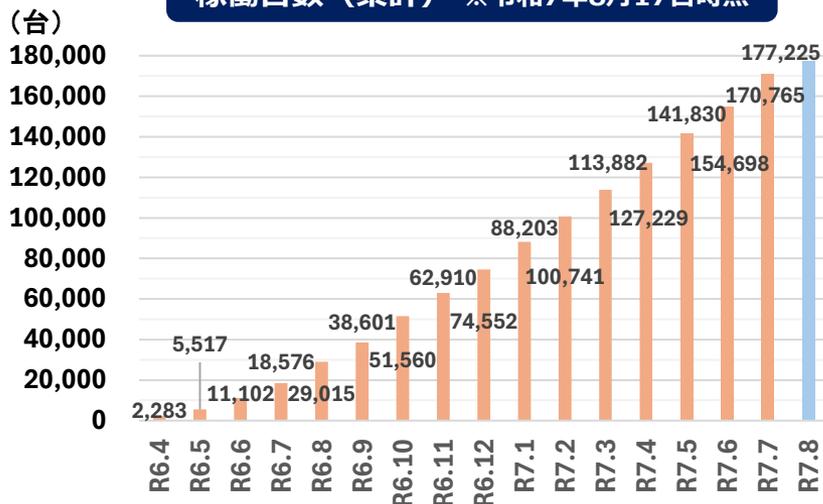
導入地域数 (累計) ※令和7年8月17日時点



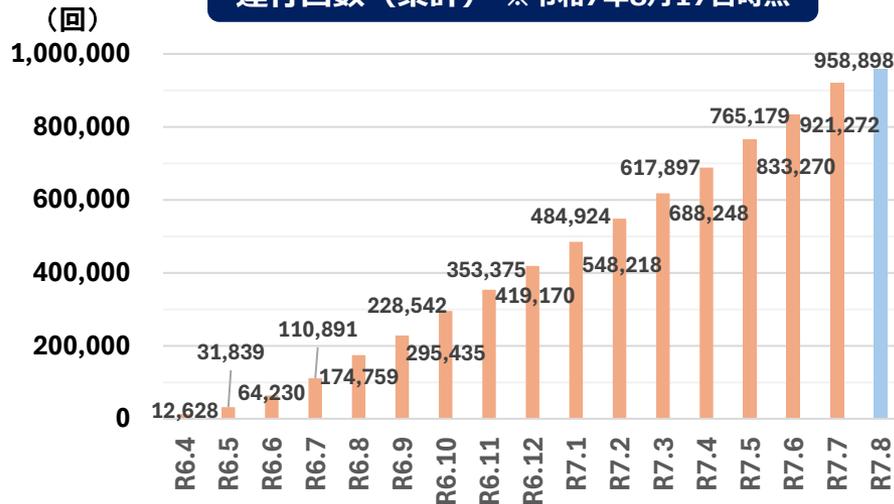
登録ドライバー数 (累計) ※令和7年8月17日時点



稼働台数 (累計) ※令和7年8月17日時点



運行回数 (累計) ※令和7年8月17日時点



公共ライドシェア(自家用有償旅客運送)の取組状況

概要

平成18年10月制度創設



目的	交通空白地等における移動手段の確保	ドライバー	第1種運転免許の保有(所定の講習を受講)
実施主体	市町村やNPO法人など(運行管理等を委託可能)	使用車両	自家用車

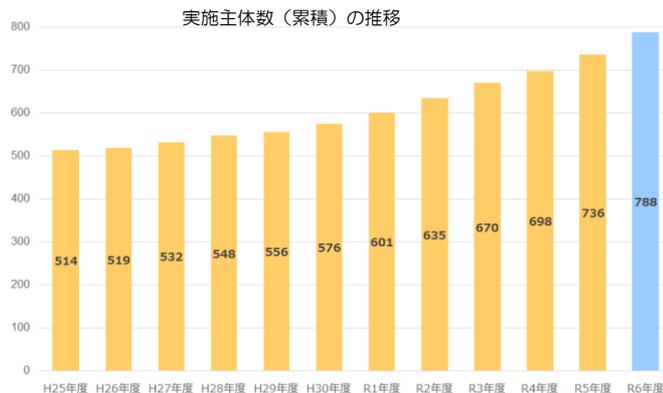
制度の改善

令和5年12月及び令和6年4月に大幅な運用改善を実施。

- 「時間帯による空白」の導入 : タクシーの営業区域でも、営業時間外の夜間等を交通空白として公共RSを導入可能に
- 「対価」の目安の見直し : 公共RSの持続性向上のため、対価の目安を地域のタクシー運賃の5割から8割に変更
- 公共交通会議の運営手法の見直し : 2ヶ月で導入の結論に至らない場合、首長の判断により公共RSを導入可能に
- タクシーとの共同運営の仕組みの導入 : タクシーの営業区域でも、タクシーと共存(優先配車)する形での公共RSを導入可能に

実施主体の増加

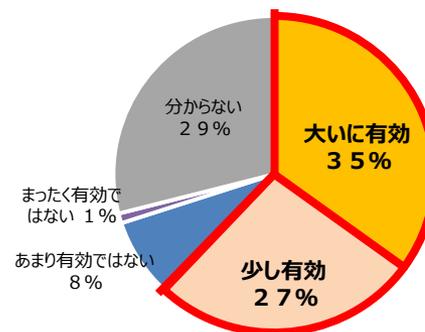
- ・実施主体は788、導入市町村数は645(全国の約37%)※R7年3月末
- ・令和5年12月の制度改善以降の1年間で、69主体で導入(これまでは平均22主体/年)



制度改善に係る自治体の受け止め

令和5年から国交省が実施する、公共/日本版ライドシェアの制度改善について、6割を超える自治体が有効と評価

Q.令和5年末から行われている地域交通に係る制度改正・規制緩和は有効か？



※「活力ある地方を創る首長の会」の会員を対象に、全国自治体ライドシェア連絡協議会(全自連)がR6年12月にアンケートを実施(n=72)

現在、地域公共交通部会において、共同化、データ活用等と併せ、実施主体の追加(広域化に対応するための、都道府県、一部事務組合、広域連合のほか、地方公共団体が出資又は参画する法人・団体等の追加)について審議いただいているところ。

こども・子育て世帯の外出支援

新潟県加茂市

こどもや子育て世代等が利用しやすいよう、路線バス/コミュニティバス(公共ライドシェア)/デマンドタクシーに交通網を再編。

課題

- ・子育て世代が安心して働き育児に専念できるよう、柔軟で利便性の高い移動手段が必要
- ・既存の公共交通の利用者は高齢者や障がい者が多いが、運営効率化のためにはより幅広い利用者を取り込むことが必要
- ・小中学校の再編や部活動の地域移行が進む中、こどもたちの移動が困難となる懸念

運送概要

運送主体	加茂市
運行経路・区域	①コミュニティバス(公共RS):加茂駅-郊外6路線 ②デマンドタクシー:市内全域 (他に路線バスと組合せ交通網を整備)
運送の対価等	①市内200円、市外400円 ②400円~1,200円
その他	・デマンドタクシーによるスクールバスの代替・効率化 ・デジタル利用券・WEB予約の導入や割引やイベントによる利用促進 ・こどもの公共交通利用意識の醸成 等を実施

実施状況

- ・各種施策により地域全体でのR6年度の公共交通利用は増加傾向
- ・公共交通機関を 家族で利用する機会、こども自身が利用する機会ともに増加

The infographic is divided into two main sections: ① 家族のあてがいを公共交通で! (Using public transport for family needs) and ② 子どもの送迎を公共交通で! (Using public transport for child drop-off/pick-up). It features illustrations of families and children, along with QR codes and contact information for the services. Key points include: 1. Family-oriented services like 'Family Ride' and 'Family Taxi' with discounts. 2. Child-oriented services like 'Comon Taxi' and 'Comon Bus' for school routes. 3. Digital coupons and online reservations for both services.

住民協働による福祉・教育の足の確保

愛媛県八幡浜市

住民協議会と市が協働。交通拠点として旧駐在所・廃校等を活用、市の車両と自家用車を組み合わせるなどにより、生活・福祉・教育の足を同時確保。

課題

- ・H21年度に地域内のバスが撤退。生活の足のほか、高齢者の足、通学の足の確保が問題化
- ・市は、交通・福祉・教育の各部署を通じ、住民組織とも連携し、住民へのアンケート調査や説明会により移動ニーズを把握

運送概要

運送主体	NPO法人にこここ日土
運行経路・区域	①生活の足：定時定路線型（市街地の市立病院や大型スーパー等） ②福祉の足：デマンド型区域運行（山間部の診療所や友人宅等） ③教育の足：スクールバス運行（教育委員会との協議による運行）
運送の対価等	①100円~600円 ②1.5kmまで500円
その他	電話事前予約制

実施状況

- ・R6年度の年間利用延べ人数：13,937人
- ・地域内で表彰を受けたほか、高齢者・小学生をはじめ、感謝の声が非常に多く寄せられている



共助による地域交通の自立化確立支援事業

京都府舞鶴市高野地域

- アプリや電話による送迎マッチング・配車を用いて、住民同士の共助による公共ライドシェアを実施することで、地域住民の外出機会を創出、公共交通の役割を補完。98.8%のマッチング率を実現し交通空白の解消に目途。

課題

- 路線バス停留所や鉄道駅までのアクセスが難しく、タクシー配車も一定の時間を要しており、買い物や通院等の日常生活の移動に課題
- このような課題に対し、住民同士の送迎サービスを実施するため、高野地域住民の有志者による「高野地域協議会」を設立

運送概要

運送主体	高野地域協議会
運行経路・区域	高野地域（デマンド型区域運行）
運送の対価等	700円/回
その他	配車アプリ「meemo（ミーモ）舞鶴」又は電話予約制

実施状況

- 同協議会において、地域住民を会員として登録し、住民同士が相互にドライバー・利用者となり、運送を実施
- ドライバーの地域自治への当事者意識を背景とし、送迎マッチング率は98.8%と高い水準を実現（送迎数 836回／依頼数 846回）



meemoおたより

meemo高野の出発式を開催

いつもmeemoサービスのご利用、ありがとうございます。いよいよ4月から住民送迎(meemo)の有償運送がスタートしました。

4月3日は、舞鶴市長をご来賓に迎え、世の中の移動問題を解決すべくドライバー/利用会員の大勢が参加しました。移動に困っている方や免許返納をご検討の方も、是非この機会にmeemoをご利用をお願いします。

meemo会員が増えています

今月からの運用に向け、説明会(3/19,26)を開催しました。4/1現在の会員数は、総勢 88名まで増えています。

<登録をされた方>利用者:78名、ドライバー:10名

登録者の内訳	性別	男性	女性	計	年齢別	男性	女性	計
(内アプリ利用者) 7	年齢	3	9	12	20代以下	0	3	3
(内予約制) 19	20代	7	7	14	20代	0	2	2
	21代	4	4	8	21-24	4	0	4
	25代	5	7	12	25-29	9	17	26
	30代	10	17	27	30-34	7	18	25
	35代	4	3	7	35-39	5	7	12
	40代	1	6	7	40歳以上	3	1	4
	性別	0	1	1	合計	34	54	88
	合計	34	54	88				

「meemo舞鶴」の情報をお知らせする「meemoおたより」を発行